

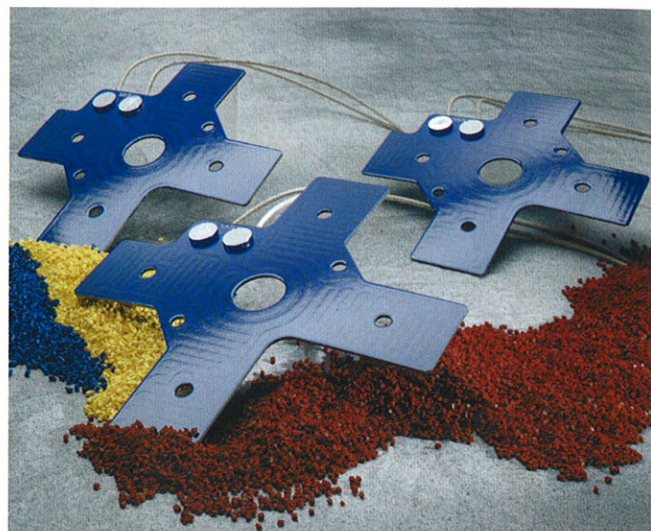
## 厚膜マニホールドヒータ で高精度ホットランナー 射出成形

ワトロ社の厚膜マニホールドヒータは、サイクルタイムを短縮し、より高い精度で温度均一性を制御しながら、ホットランナー射出成形を行うことを可能にします。

厚膜マニホールドヒータは、ホットランナーマニホールドの外面に直接取付けるようになっていました。このクランプオン設計は、ホットランナー金型に次のような多くの利点をもたらします。

- 均一な熱分布
- 低質量ホットランナーマニホールド：チューブラヒータのように余計な鋼材を使わなくてすむため、マニホールドを小型化して、より迅速に加熱でき、射出成形機の立ち上げ時間を短縮できます。
- 設計に弾力性を持たせることができます。
- ヒータの形状をマニホールドの形状に合わせることができるので、ヒータをホットランナーのさまざまな輪郭にマッチさせることができます。
- 鋼製マニホールドの場合には、チューブラまたはケーブルヒータを取付けるための溝を機械加工していましたが、本製品ではその必要がないため製造が簡略化されています。

厚膜マニホールドヒータは、ワトロ社の厚膜熱技術を用いてステンレス鋼板上に製造されています。本製品が薄型に仕上げられている秘密は、そのユニークなサンドイッチ構造にあります。ワトロ厚膜ヒータは、いくつかの積層材から成っています。基板をガラス状の絶縁フィルムで被覆し、その上に特注の抵抗回路と絶縁性の仕上げ上塗り塗料を施してあります。厚膜回路を用いることによって、ヒータの全面にわたって熱出力を変化させることができ、そのおかげで従来のヒータで生じていたあらゆる温度均一性の問題を制御、解決することができます。



### 仕様

- 最高基板温度：550℃
- ワット密度は、基板全面にわたる用途によって決まります。
- 輻射熱用途においては、5.43W/cm<sup>2</sup> (35W/in<sup>2</sup>)
- 最大240ボルト、三相
- 端末形式は、コンタクトパッド、はんだ付けリード線、溶接スタッド／リード線（出荷時標準装備）の中から選択できます。

### 特長と利点

#### 薄型パッケージ

- 取付穴、ノッチ、センサなどにぴったり合うようにヒータを設計できます。

#### 立ち上げ時、動作時のマニホールド内での迅速な熱応答

- より効率的なシステムが可能になります。

#### プラスチック樹脂洩れの影響を受けず、交換が容易

- マシンのダウンタイムを短縮できます。

#### カートリッジ、ケーブル、チューブラヒータなどに必要な取付穴加工が不要

- 金型の全高を低くでき、コストも節減できます。

#### マニホールドの全熱質量が小さい

- 電力消費を削減できます。
- より迅速な熱応答が可能。

#### マニホールド内での優れた熱分布

- 成形品の高品質と歩留まりの向上を実現。
- 金型交換時のリカバリ時間を短縮します。

### 用途

- ホットランナーマニホールドシステム